

市民医療センター長・医務部長・事務部長目標（令和6年度組織目標）

市民医療センター長
黒木 康富
(くろき やすとみ)

医務部長
東 賢治
(ひがし けんじ)

事務部長
市川 勝也
(いちかわ かつや)



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

3すべての人に健康と福祉を

11住み続けられるまちづくりを



● 市民医療センターの仕事

市民医療センターは、公的医療機関として地域に必要な医療を提供し、保健医療の向上及び健康維持・増進を図るため、内科の入院・外来診療、小児科の外来・急患診療及び人間ドックなどの健診事業を中心に病院事業を運営しています。

● 市民医療センターの目標

市民医療センターは、市内医療機関などと連携し地域医療の維持・向上を図るとともに、安心して子育てができるよう小児医療体制の安定的な運営に努めています。今後大幅な需要の増加が見込まれる地域包括ケア病床の安定的な稼働を図るなど、地域に根ざした信頼される病院を目指して体制を確保していきます。
老朽化している施設の再整備に向けて、昨年度に策定した再整備基本計画に基づき基本設計等の準備を進めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	地域医療への貢献と在宅医療の支援	埼玉県地域医療構想に示される地域の医療環境の変化に合わせ、市内の関係機関や地域包括支援センターなどとの連携強化を進め、地域医療への貢献や在宅医療の支援に取り組みます。	地域包括ケア病床の安定的稼働を図るとともに、在宅療養や介護施設からの患者の入院から退院まで円滑に行える地域連携（地域完結型医療）体制を推進します。	近隣病院や介護施設など関連施設との連携強化を図り、地域包括ケア病床及び急性期の入院患者を昨年度よりもさらに多く受入れました。
2	小児初期救急医療体制の推進	安心して子育てができる医療環境を整備するため、小児科第二次救急医療機関や市内の関係医療機関と連携しながら、切れ目のない小児初期救急医療を提供できる体制を維持します。	所沢市域全体で、全日・昼間・夜間・深夜の全ての時間帯で、小児初期救急医療体制の安定的な運営に努めます。	市内医療機関との連携により、年末年始を含めすべての時間帯での安定した小児初期救急医療体制を維持し、安心して子育てができる医療環境の確保に努めました。
3	市民医療センター再整備及び病院事業の経営改善	施設の老朽化に対応するため、公立病院として担うべき役割や機能等について整理した「所沢市市民医療センター再整備基本計画」に基づき、基本設計を作成します。併せて、引き続き病院事業の経営改善に取り組みます。	令和10年度の供用開始を目指して令和7年度に実施設計を行うため、本年度中に基本設計を作成します。また、昨年度に策定した経営強化プランに沿って経営改善に取り組みます。	令和7年度の再整備実施設計及びその後の工事着手に向け設計事業者を選定し、必要な設備の調整や近隣住民への説明などを経て基本設計を行いました。経営改善に向けては、引き続き経営強化プランに沿って無駄な経費削減、収益の向上に努めます。
4	医療情報システム更新事業	医療情報システムを更新し、情報共有環境を整備することで、業務の迅速化・効率化、情報管理体制の向上等を目指します。	電子カルテ導入やデジタルによる部門間の情報共有環境の整備等を想定し、令和7年度にシステム開発を行うため、本年度は発注仕様書の作成及びシステム開発事業者の選定を行います。	令和7年度中の新システム導入に向けて、システム開発事業者をプロポーザル方式で選定し決定しました。